

# 市民公開シンポジウム「がんの痛みやつらさを一人で抱えていませんか」

<開催日程> 2009年10月10日(土)13:00~17:20

<会場> 日比谷公会堂

厚生労働省委託事業「緩和ケア普及啓発事業」Orange Balloon Project

シンポジウム主催、ブース展示、アンケート調査実施、一般市民への普及啓発

来客者総数：917名、アンケート回収数：508件

＝講演・シンポジウム・会場内の様子＝





市民公開シンポジウム  
がんの痛みやつらさを  
一人で抱えていませんか

日時：2009年10月10日(土) 13:00~17:20 (開場 12:00)

場所：日比谷公会堂

主催：日本緩和医療学会

共催：日本ホスピス緩和ケア協会、日本死の臨床研究会、日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本がん看護学会、  
日本緩和医療薬学会、日本サイコオンコロジー学会

協賛：がん性疼痛緩和推進コンソーシアム



# 市民公開シンポジウム がんの痛みやつらさを一人で抱えていませんか

## プログラム

総合司会：川上 祥子 氏 (キャンサーネットジャパン)

### Opening .....

13:00 ~ 13:05 **開会挨拶**

江口 研二 氏

帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科教授、帝京がんセンター長、日本緩和医療学会理事長

13:05 ~ 13:10 **オレンジバルーンプロジェクトの紹介**

内布 敦子 氏

兵庫県立大学看護学部教授、日本緩和医療学会理事、緩和ケア啓発普及事業代表

### 第1部 .....

13:10 ~ 14:10 **講演：がん患者が医療を変える**

座長：本家 好文 氏

広島県緩和ケア支援センター長

講師：鳥越 俊太郎 氏



京都大学文学部を卒業後、毎日新聞社入社。新潟支局、大阪本社社会部、東京本社社会部、サンデー毎日編集部、外信部テヘラン特派員、サンデー毎日編集長を経て、1989年同社退職。同年10月から、テレビ朝日系「ザ・スクープ」(テレビ朝日系列)のキャスターとして、活字からテレビの世界に入る。「桶川女子大生ストーカー殺人事件」の報道では、2001年度の日本記者クラブ賞を受賞。現在、「スーパーモーニング」(テレビ朝日系列)と「大沢悠理のゆうゆうワイド」(TBS ラジオ)などに出演中。本年7月には、NPO 法人がん患者団体支援機構の理事長に就任。

14:10 ~ 14:25 **休憩 15分**

14:25 ~ 15:55 **シンポジウム：「がんの痛みやつらさを一人で抱えていませんか」**

座長：高宮 有介 氏

昭和大学医学部 医学教育推進室 講師

田村 恵子 氏

淀川キリスト教病院ホスピス 主任看護課長 がん看護専門看護師

① **緩和ケアに手が届くまで (患者家族の立場 30分) .....**

認定NPO法人「救急ヘリ病院ネットワーク」副理事長

篠田 伸夫 氏

1967年京都大学法学部卒業、同年自治省入省、1986年自治省消防庁救急救助室長として消防法を改正(傷病者が医療機関に搬送されるまでの間の応急の手当を合法化)、1989年自治省振興課長、1991年東京都行政部長、1993年岐阜県副知事、1996年自治省消防庁次長、1997年自治省退官、1999年救急振興財団副理事長としてドクターヘリの全国的配備を目指すNPO法人「救急ヘリ病院ネットワーク」の設立に参画。



## ②緩和ケアをもっと受けやすくするために.....

### ・医師の立場から (15分)

田村 亮氏

姫路聖マリア病院 ホスピス・緩和ケア科部長

1979年 大阪医科大学卒業、岡山大学第二内科学教室に入局。1985年～1995年神戸市立西市民病院内科で呼吸器・肺がんを中心に診療。1995年姫路聖マリア病院にてホスピス病棟開設に向け準備開始。1996年5月よりホスピス病棟に勤務し現在に至る。日本ホスピス・在宅ケア研究会理事。

著書：「ホスピス入門」(共著、行路社、2000年)「退院後のがん患者と家族の支援ガイド」(共著、プリメド社、2004年)

### ・看護師の立場から (15分)

湯山 邦子氏

医療法人 社団若林会 湘南中央病院 緩和ケア病棟 課長

1994年 湘南看護専門学校看護学科卒業後、東海大学付属伊勢原病院勤務を経て(財) ライフプランニングセンターベースハウス病院 総合病院 衣笠病院 ホスピス病棟勤務。2004年より現職。2001年 日本看護協会 緩和ケア認定看護師認定取得。ホスピス・緩和ケア部門において、通算14年間勤務。現在 病棟管理と共に年間300件前後の「緩和ケア病棟 入院相談外来」を担当している。

### ・心理療法士の立場から (15分)

栗原 幸江氏

静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科 心理療法士

1994年コロンビア大学大学院修士課程卒業。ニューヨーク州認定臨床ソーシャルワーカー及びマッサージセラピスト。1994年マウント・サイナイ医療センター勤務を経て、1995年から終末期緩和医療専門病院カルバリー・ホスピタルにて終末期がん患者と家族(及び遺族)のこころのケアを専門とする。2002年より現職。心理療法士としてがんの診断時から遺族ケアにいたる「患者と家族のこころのつらさ」の緩和とスタッフのメンタルサポート及び教育に携わる。日本緩和医療学会理事・教育研修委員、日本死の臨床研究会国際交流委員など。

## ③討議 (15分) .....

15:55～16:20 休憩 **—フルーツとピアノの生演奏—**

松島 美香氏 (フルーツ)  
岡田 美貴子氏 (ピアノ)

## 第2部 .....

16:20～17:20 **講演：「～世界ホスピス緩和ケアデーにむけて～  
あなたの痛みを癒すもの」**

座長：加賀谷 肇氏

済生会横浜市南部病院 薬剤部 薬剤部長

講師：柏木 哲夫氏

金城学院学院長・大学長、大阪大学名誉教授、淀川キリスト教病院名誉ホスピス長

1965年大阪大学医学部卒業。同大学精神神経科に3年間勤務し、主に心身医学の臨床と研究に従事。その後3年間、ワシントン大学に留学し、アメリカ精神医学の研修を積む。

1972年帰国し、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。翌年我が国ではじめてホスピスプログラムの実践を開始した。その後、同病院にて内科医としての研修を受け、1984年にホスピス開設。副院長、ホスピス長を経て、1993年大阪大学人間科学部教授就任(人間行動学講座)。2004年4月より現職。

## Closing .....

17:20 **閉会挨拶**

内布 敦子氏

兵庫県立大学看護学部教授、日本緩和医療学会理事、緩和ケア啓発普及事業代表

